

埼玉県教育委員会 協調学習研修 time line<25名参加> 10:00~17:00
 @KALS

15分
 9:45-10:00

自己紹介

活動の流れ	発問・指示	形態	WN, 資料・道具	所要時間	累積時間	留意点など	メモ
1 最初の挨拶と活動概要説明	今日の狙いは、WN1 2回のジグソー活動を通して、認知原則の1, 2, 3, 4という考え方があることをわかっていただいた上で、皆さんが、現場の先生たちに、「協調活動は、授業の中で、いつ、どんなふうに、どんな狙いで導入すると良いか」をうまく説明できるよう、ひとりひとりご自分の言葉で説明できるようになっていただくこと 後に時間を取りたいので、どんどん進めて下さい	全体	WN1 事前 狙いと、ジグソーの図 名前書かず 持ち帰り可	10分 10:00-10:10	10	座席はマガダマ1つに2人、2つに4人。 はじめに、教育委員会側からのご挨拶を想定 実施はこの7名で担当、と軽く流す 座席は、最初一緒に来た人たちが固まって座っても大丈夫	撮影許諾書は開始前に
2 協調活動再考への導入	協調の 「これまでどんな・いつ・狙い」で問題設定 Pre こども、全員全部書けなくてもいいので、指示を早めに出してどんどん進めて下さい。	全体	WN2 プレ	15分 10:10-10:25	25	5分ほど書いてもらって、話し合い誘導 話し合うグループは2人でも3人でも近場で話しやすそうな人相手に	
3 スキーマ解説	スキーマとは何か解説を読み 伝言ゲームで「ふくろう」が「ねこ」になったわけをスキーマという言葉を使って考える ここは、少しは話し合いを取りたいので、15分は確保して下さい	全体	WN3 スキーマ	25分 10:25-10:50	50	5分ほど書いてもらって、話し合い誘導 話し合うグループは2人でも3人でも近場で話しやすそうな人相手に	
4 HOWDY Figureの4課題に分かれてエキスパート 課題を経験、そこに潜む認知過程を探り当てる	ジグソー法のやり方をWN4で、もう一度説明します。 WN4で希望の課題をもとに、人数を調整しつつグループ編成 →席札ネックレスを配る WN5678とWN9は同時配布でも可。5678は「一枚ずつ進めて下さい」 一呼吸置いて「説明のポイントをWN9へ」 ヒントは15分したあたり、課題が一通り終わったところに入れてください。時間に余裕があってもヒントは早めに入れて、残り時間をできるだけたくさん取ってください。	第一段目の エキスパート活動	WN4 ジグソー法 開始のタイミングで WN5678いずれか グループ決め後 ★「H」はまだ配らない ★ WN9 共通EXPERTメモ WN5H~8H 15分後	40分 ヒントは15分経過 時点が目標 10:50-11:30	90	グループはWN4の選択肢に応じて →ここで席札ネックレスを配布(斉藤さん作成) 人数調整の依頼はTAで対応します 3人×8GR (4課題) 1課題につき2GR	
6 HOWDY Figure4課題をJigsaw	5分でグループ換え 一課題5分以上+10分くらい	第一段目の ジグソー	WN10 聞き取りメモ	40分 11:30-12:10	130	4人×6gr グループでの話が早めに収斂するようならクロス・トークを2, 3グループから	

7	HOWDY Figure4課題を「スキーマ」をキーワードにプロジェクト	交換した結果を使って、次の二つの問いに答えてみてください。 (1)「人の認知活動の原理原則」と「人の知識がスキーマと呼ばれる構造を持っていること」とは、どんなふうに関係していると考えたらよいでしょう？たとえば、人の記憶が、スキーマのような関係構造ではなく、「見たことのデジカメ画像状のまる写し」だったり、「ICレコーダの録音」のようなものの集積だったとしたら、どうでしょう？ (2)人はスキーマを使って学習します。ではスキーマは学習に対してどんなメリットやデメリットをもっているのでしょうか？4つの話をまとめてください。(→クロストーク)		WN11 プロジェクト	20分 12:10-12:30	150	みんなで話し合いながら、各自書く
8	昼休み				60分 12:30-13:30	210	折り紙などを配布できるよう準備しておく
9	HOWDY Calc の曜日計算と折り紙で第二段階目のエキスパート 課題を体験、協調して解いたらを話し合い、協調問題解決の利点譜利点を考える	・両方のグループに計算問題をやっていただきます。さっきと違って同じような問題を何題か繰り返し解いていただきます。練習問題ですね。 ・今度は、練習する間に自分たちの解き方がどう変わるかにも気を配って、後で別の課題をやっている人に自分の経験を説明できるようにして下さい。	第二段目のエキスパート活動	WN12もしくは13グループ決め後エキスパートメモ WN12の最終ページ WN13の最終ページ	60分 13:30-14:30	270	★EXPERTメモが、今回は課題によって異なる★ 3人×8GR(2課題) 1課題につき4GR
10	HOWDY Calc 2課題でJigsaw	WN1(4) さらに、計算(Calculation)に関する簡単な課題を二つ使って、ジグソー活動をやります。ここでは、「人が協調して課題を解く仕組み」について検討します。	第二段目のジグソー	聞き取りメモ WN14	30分 14:30-15:00	300	4人×6GR(2課題) 活動8と同じグループ グループでの話が早めに収斂するようならクロス・トークを2,3グループから
11	休憩				10分 15:00-15:10	310	
12	HOWDY Calc 2課題でProject	人が練習問題を繰り返すと、何ができるようになるのかについて、Figure4課題+Calc2課題の結果をまとめて WN1(5) 最後に二つのジグソーを組み合わせ、協調活動の仕組みを説明し、いつ、どんな時に、どんな狙いで協調活動を授業に取り入れるとうまい学習が起きるのか、一般の先生方に解説するにははどうしたらいいか、話し合ってみてください。	両方あわせてのプロジェクト	WN15	30分 15:10-15:40	340	2課題のプロジェクトであると同時に、6課題全体のプロジェクト
13	協調活動再考 クロストーク	各グループで出たトピックを紹介いただく (1グループで、3分程度?)	クロストーク		30分 15:40-16:10	370	
14	HOWDY Calc 2課題でProject 文章化	個人で最終的な考えを書き足す		WN15 裏にしてもいいし、追記してもいい	10分 16:10-16:20	380	
15	休憩				10分 16:20-16:30	390	
16	相談、自由討論	全グループで自由に討論する 今日の活動の振り返りでも、授業への取り入れ方でも(山崎先生ご要望の、フランクな語り)	フリー・トーク		20分 16:30-16:50	410	話し合いの時間が必要そうか様子を見て判断する
17	全体感想	全体感想を書いてもらう		WN16	10分 16:50-17:00	420	

17:00